

支援機関の活動紹介 「財団法人三重県産業支援センター」



財団法人三重県産業支援センター
写真左から、

- みえ中小企業応援センター 井上哲志氏 (応援センター担当)
- 地域産業創造課 主幹 中津平一氏 (応援ファンド担当)
- 地域産業創造課 研究員 阪本善康氏 (農商工連携担当)
- ものづくり支援課 研究員 中野誠樹氏 (IT経営応援隊担当)
- 経営・IT支援コーディネーター 水谷哲也氏 (ITコーディネータ)
- ものづくり支援課 主幹 小林利幸氏 (IT経営応援隊担当)

三重県全域を対象とする支援機関である財団法人三重県産業支援センターは、IT経営応援隊や中小企業応援センターなど、国の事業にも積極的に取り組んでいる。

ものづくり支援課研究員の中野誠樹氏は、「起業支援から事業化支援まで何でも対応できる」三重の産業119番を目標し、様々な専門家の方にご協力いただい

ています」と言う。その中から3つのメニューを紹介する。

○新ビジネス創出への助成金

起業や新規ビジネス創出に必要となる資金面は、「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金」「みえ農商工連携推進ファンド助成金」などでサポートしている。国や県からの資金、県内金融機関の寄託金によって組成した基金の運用益を助成金に充てている。

平成21年の秋から始まった「みえ農商工連携推進ファンド助成金」は、企業と農林漁業者が連携して新たな商品やサービスメニューを開発する事業を支援。期間はあるため、腰を据えて取り組むことができる。

○IT活用支援

IT活用支援においては、

支援メニュー例	
「みえ農商工連携推進ファンド助成金」	
県内の農林漁業者と中小企業等が連携し、互いの経営資源を活用して新商品・新サービスの開発等の取り組みに対して次の助成金を交付する。	
募 集	春・秋の2回
助 成 期 間	2年以内
助成限度額	一般企業の連携の場合 400万円以内
問い合わせ	地域産業創造課 059-228-3585

平成20年度よりIT経営応援隊のセミナーや研修会、専門家の派遣などを実施している。

また、ITと経営の専門家として、経営IT支援コーディネーターの水谷哲也氏が資金繰りからホームページの活用まで様々な相談に応じられる体制をとっている。

ホームページ活用支援では、支援先企業の自律的な活動が生まれている。以前開催したネットショップ講座は、その後、民間の勉強会として定着。他地域との交流も広がっているという。

また、三重県内にはツイッターを上手に活用している著名な企業があり、その影響からツイッターの勉強会も盛んとのことだ。

○応援センターで支援を強化

そして、平成22年度は中小企業応援センター事業にも採択された。「みえ中小企業応援センター」の名称で三重県中小企業団体中央会、津商工会議所、四日市商工会議所と共同で事業に取り組む。地域の金融機関、大学、商工会議所などとも連携を取りながら、支援を実施している。

支援メニューとして、①専門家の派遣(原則3回まで)、②窓口相談、③セミナー開催が用意されている。

「応援センター」では、高度専門的な相談について支援計画を策定し、専門家を派遣するなど中小企業の課題解決に取り組んでいる。

「応援センター」の担当者は、「まず応援センターという名前を一人でも多くの方に知ってほしい。そして、顧客である中小企業と連携先支援機関の満足度を高めていくのが役割だと思っています」と話している。

お問い合わせ先
財団法人三重県産業支援センター
三重県津市栄町1-891
<http://www.miesc.or.jp>